

施策名 (小項目)	斎場の運営と墓地の整備	コード	05-09-38	作成者	役職 久保山 仁也	環境課
		作成者	氏名 久保山 仁也	電話	0869-64-1821・1822	
				このシート作成に要した時間	時間	

この施策の アピール ポイント	火葬場の運営は、止めることができない施策であり、今後も継続して支障を起こさないように努める。 墓地需要は、継続してあるため、市民ニーズを把握しつつ、適正管理に努める。
-----------------------	----------------------------------------------------------------------------------------

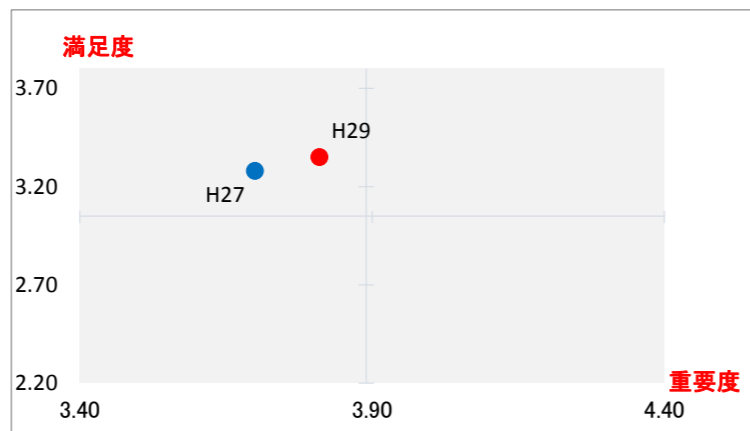
この施策の 平成29年度の 施政方針	斎場の運営と墓地の整備につきましては、公衆衛生の向上に努め、適正な維持管理に努めるとともに、需供のバランスを見極めながら、施設整備の検討を行い、地域のニーズに応じた市民が利用しやすい環境整備に努めてまいります。
--------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想 (大項目)	05 生活環境政策「快適・活力」
	基本計画 (中項目)	09 環境を大切にしながら未来につなぐまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参列者に清潔な環境を提供しながら火葬を執行する</li> <li>・ 地域のニーズに応じた、市民が利用しやすい墓地を供給する</li> <li>・ 衛生的な環境(公衆衛生)を保つ</li> </ul>	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	斎場は備前地域と日生地域にあり、現在は、主にそれぞれの地域で使用されています。吉永地域については、和気北部衛生施設組合の施設を主に使用していますが、今後の斎場の在り方について、統合も含めた検討を進めていく必要があります。適正な火葬執行に努めていますが、運営体制だけでなく維持管理費等コスト面から考えると旧市町の体制を継続していることが課題となっています。墓地については、市営墓地として13箇所1,470区画を整備していますが、将来の需供を見極めながら整備を進めていくことが必要です。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 斎場の適正な運営</li> <li>・ 斎場の施設整備</li> <li>・ 墓地の管理</li> <li>・ 市有墓地の整備</li> </ul>	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H27	H29
重要度 (%)	3.70	3.81
満足度 (%)	3.28	3.35



《グラフにおける領域の説明》



調査結果に対するコメント、市民の反応等	墓地整備については、民間による整備もあり、今後も需要を見極めながら、必要に応じて進めていく必要がある。H27年度と比較し若干満足度が高くなっている。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H27	H28	H29		H32	H34
成果指標 市有墓地の区画数	目標 区画	1,470	1,500	1,500	現在の市営墓地区画数	H32	1,500
	実績 区画	1,470	1,470	1,470		H34	1,550
	達成率 %	100.0	98.0	98.0			
	ベンチマーク						
参考指標① 備前斎場の1件あたり執行経費	目標 円	—	80,000	80,000	施設維持管理費/火葬執行件数	H32	80,000
	実績 円	45,790	84,452	67,516		H34	80,000
	達成率 %		94.7	118.5			
	ベンチマーク						
参考指標② 日生斎場の1件あたり執行経費	目標 円	—	85,000	85,000	施設維持管理費/火葬執行件数	H32	85,000
	実績 円	89,229	85,656	90,679		H34	85,000
	達成率 %		99.2	93.7			
	ベンチマーク						
参考指標③ 和気火葬場の1件あたり執行経費	目標 円	—	95,000	95,000	施設維持管理費/火葬執行件数	H32	95,000
	実績 円	95,948	98,808	86,576		H34	95,000
	達成率 %		96.1	109.7			
	ベンチマーク						
参考指標④ 祭壇飾付+霊柩車運行件数	目標 件	—	—	—	祭壇飾付と霊柩車運行実績件数		
	実績 件	15	14	6			
	達成率 %						
	ベンチマーク						
参考指標⑤	目標						
	実績						
	達成率 %						
	ベンチマーク						

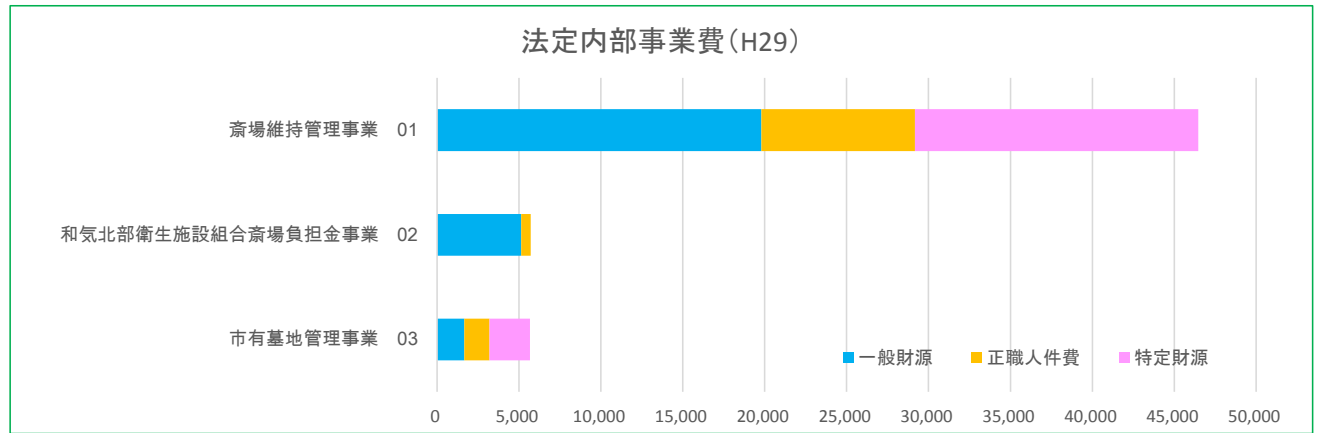
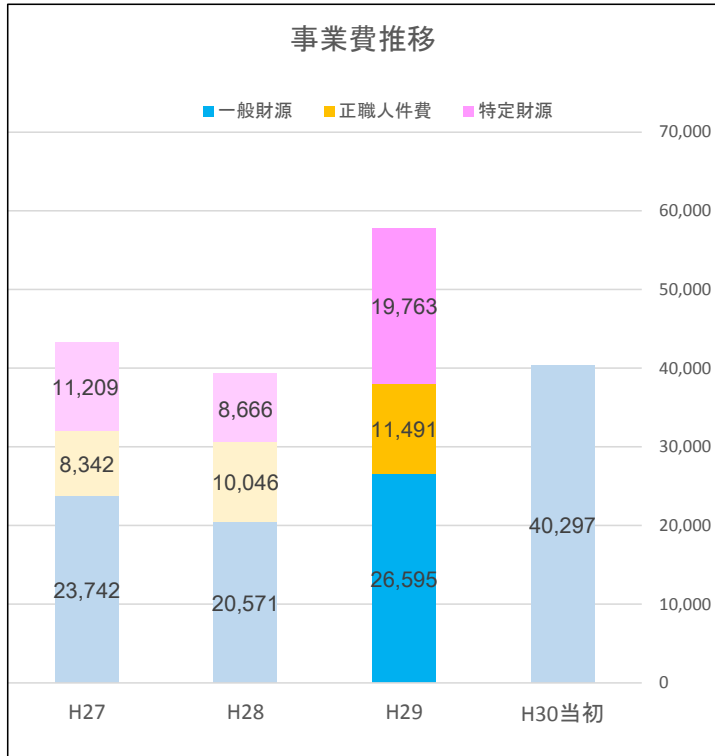
⑦ 目標達成に必要な新規事業 (施策構成事務事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
民間	斎場運営事業の委託	葬儀は、民間事業者で行っているケースが多くなっており、斎場の運営についても将来的には委託も視野に入れた検討が必要と考える。

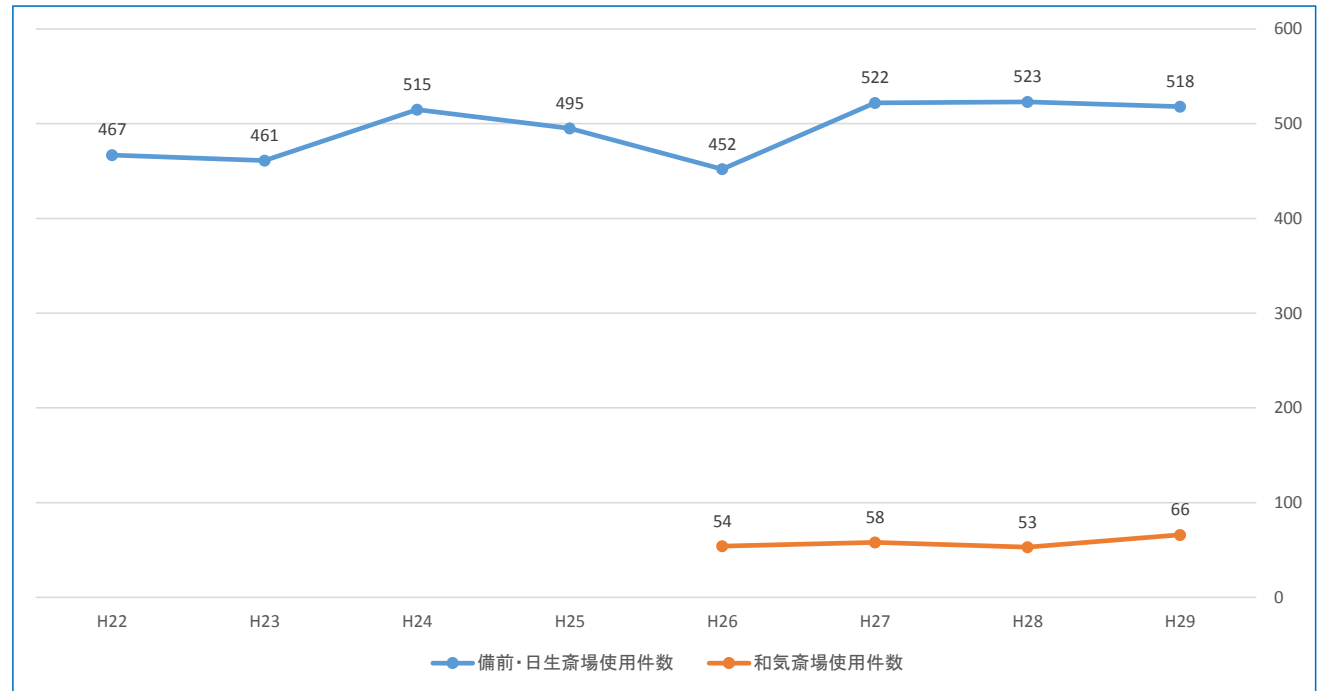
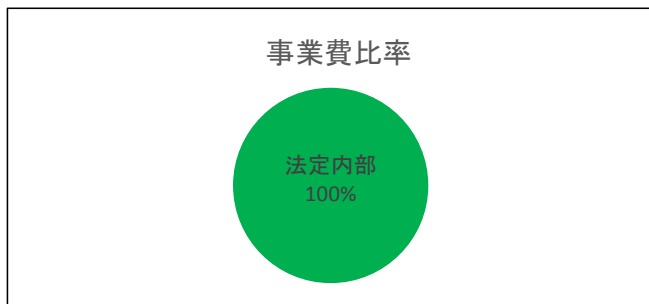
⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	市が主体となって、火葬場の維持管理を行い、墓地需用については民間事業者の動向も見極めつつ、公衆衛生を守っていく必要がある。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	墓地については、需要と供給のバランスを見ながら、民間事業者とも協力しながら公衆衛生を守っていく必要がある。火葬場については、市が主体となり、支障を起こさないように適正な維持管理が必要である。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	墓地整備については、民間事業者による整備も行われており、引き続き需要バランスを見ながら、整備も必要に応じて進める必要がある。	
進行年度(H30年度)の取組内容 (課題解決状況)	斎場管理運営については環境に配慮した運営とし、また今後の斎場の在り方については、統廃合に向けた協議を進めていく。		
翌年度(H31年度)の取組目標	備前斎場、日生斎場、和気北部衛生施設組合の和気斎場の今後の在り方、効率的な施設の運用を検討していき、各関係者と協議をしていく必要がある。		
二次評価者コメント	斎場については、備前斎場の炉の大型化とガス化を行っており、和気北部衛生施設組合火葬場の動向を踏まえ、今後の高齢者数のピークとそれ以後の減少を視野に周辺環境の維持と火葬効率の適正化を図っていく必要がある。墓地については、管理者が遠方であることから用地の返納も考慮し、早期の募集による墓地供給を行う必要がある。		基本施策への 貢献度
役職 氏名	市民生活部長 今脇 誠司		3 中立

施策評価シート(裏面)



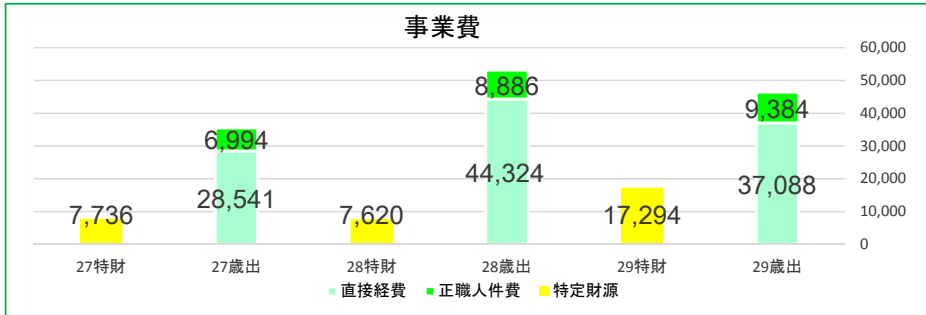
事業費 0.6 億円  
 特定財源 0.2 億円



備前市事務事業評価シート【法定事務】【内部事務】

総合計画	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	担当課	環境課
	基本計画	09	環境を大切に未来につなぐまち	職・氏名	主査 神谷信行
	施策	38	斎場の運営と墓地の整備	電話	0869-84-3501
事務事業名	01	斎場維持管理事業		法令名	備前市葬儀条例及び規則 日生町営斎場及び葬祭事業に関する条例及び規則

事業の説明	事業概要	適正に火葬を執行するため、斎場・霊柩車等の維持管理を行う。				
	主な事業費	《決算》 【賃金】火葬執行嘱託賃金：備前斎場6,606千円 【委託料】斎場管理業務委託料：日生斎場5,400千円 【工事請負費】斎場火葬炉改修工事：11,988千円				
	特定財源	葬儀使用料 7,294千円 (市内：12,000円/件×490件、市外：45,000円/件×27件 霊柩車・柩等) まちづくり応援基金 10,000千円				
	処理実績	備前火葬執行件数	H27 416件	H28 422件	H29 416件	
	前年度からの変更点・改善点	・平成28年度の火葬炉設備等改修工事により、火葬燃料が灯油からLPGへ変更となった。(H29.1~) これにより燃焼効率が高く、安定した燃焼が維持できるため黒煙及びばいじん等の流出が大幅に抑制され、 また、排ガス中の不純物が液体燃料(灯油等)に比べ少なく、その結果、硫酸酸化物等の排出量も減少する。				

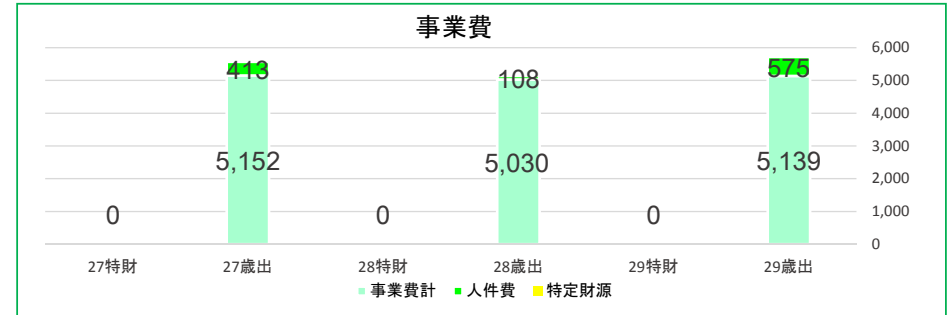


直接経費の分析	増加した経費：燃料費（理由：火葬燃料の変更による）1,248千円増 減少した経費：工事請負費（理由：前年度の火葬燃料変更に伴う工事が完了したため）8,591千円減
人件費の分析	評価シートの見直しに伴い、人件費の算定方法が変更となったことが大きな要因であり、特段の増加要因は見受けられない。
今年度の改善点	火葬燃料変更後のさらなる効率性かつ安定性を考慮した運転管理の実施。また、利用件数の少ない祭壇の貸出業務、霊柩車の運行について、今後継続の要否を調査・研究を実施する。
次年度の方角性	施設の効率的運用及び適正な施設保全の外、希少業務については廃止を含め、運営効率について検討していく。

備前市事務事業評価シート【法定事務】【内部事務】

総合計画	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	担当課	環境課
	基本計画	09	環境を大切に未来につなぐまち	職・氏名	主事 戸川遼祐
	施策	38	斎場の運営と墓地の整備	電話	0869-84-3501
事務事業名	02	和気北部衛生施設組合斎場負担金事業		法令名	和気北部衛生施設組合格約

事業の説明	事業概要	主に吉永地域の火葬執行を円滑に行うため、和気北部衛生施設組合に対し負担金を納付する。				
	主な事業費	《決算》 【負担金補助及び交付金】和気北部衛生施設組合斎場負担金：5,139千円				
	特定財源					
	処理実績	火葬執行件数（備前市分）	H27 58件	H28 53件	H29 66件	
	前年度からの変更点・改善点	市内に類似施設が2施設あり、組合加入の是非について調査及び研究した。 ※執行件数については、今年度から全種別に変更している				

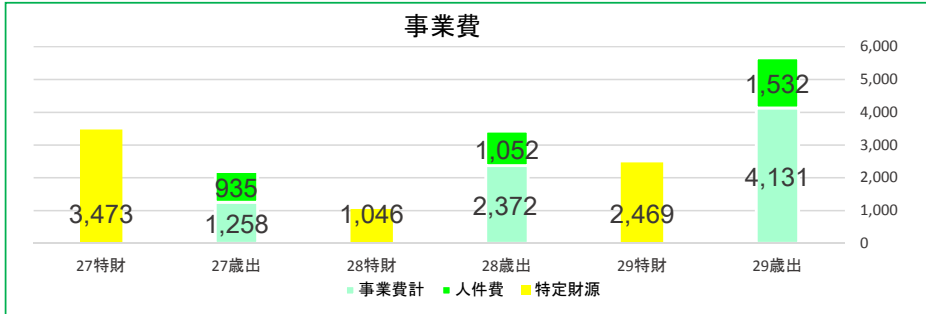


直接経費の分析	増加した経費：分担金（和気町火葬場修繕に伴い増加） ※分担金について（均等割、人口割、利用割で算出）
人件費の分析	増加理由：組合に係る今後の方向性等に関する協議等に時間を割いたため。
今年度の改善点	市内に類似施設が2施設あり、脱退の協議を行っているところである。市民に理解を求めるとともに関係機関との協議・調整を実施している
次年度の方角性	H30年度の経過を踏まえ必要に応じ、市民への周知、例規改正等を行っていく。

備前市事務事業評価シート【法定事務】【内部事務】

総合計画	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	担当課	環境課
	基本計画	09	環境を大切に未来につなぐまち	職・氏名	主査 神谷信行
	施策	38	斎場の運営と墓地の整備	電話	0869-84-3501
事務事業名	03	市有墓地管理事業		法令名	墓地、埋葬等に関する法律 墓地等の経営の許可等に関する条例 備前市営墓地使用条例

事業の説明	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市有墓地施設の維持管理を行う。</li> <li>・市有墓地の整備(修繕)を行う。</li> <li>・宗教法人、個人墓地を設置しようとする者に対し、適正な墓地整備を目的として、設置許可や指導を行う。</li> </ul>			
	主な事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修繕料 632千円</li> <li>・市営墓地維持管理委託料 269千円</li> <li>・市営墓地永代使用料等還付金 3,018千円</li> </ul>			
	特定財源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営墓地永代使用料 (2,325,000円/6件)</li> <li>・市営墓地管理基金繰入金 268千円</li> </ul>			
	処理実績	使用許可件数	H27 7件	H28 2件	H29 6件
	返還件数	H27 4件	H28 11件	H29 14件	
経営許可件数	H27 1件	H28 0件	H29 0件		
前年度からの変更点・改善点	墓地区画使用権者（管理者）の高齢化等により、将来的に管理が困難になる等の理由で墓地区画の返還件数が増加傾向にある。 年1回のペースで実施している『市営墓地使用者の公募』について、空き区画の状況により、複数回の実施を検討する。				



直接経費の分析	増加した経費：償還金利息及び割引料(理由：墓地区画の返還件数(金額)の増加による。)1,240千円増
人件費の分析	事務改善等による効率化：職員の実務経験によるところが大きい業務であることから、最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている。
今年度の改善点	市営墓地台帳を整理し、適正な運営を図る。
次年度の方角性	整理された台帳を基に現地調査等を行ない、さらなる適正運用を図る。